



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社メタルアート 上場取引所 東
 コード番号 5644 URL <https://www.metalart.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 友岡 正明
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 三宅 恒路 (TEL) 077-563-2111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	19,927	△18.3	898	9.3	1,161	37.7	736	34.1
2020年3月期第3四半期	24,397	2.2	822	△10.1	843	1.6	549	3.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,296百万円(77.0%) 2020年3月期第3四半期 732百万円(34.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	243.61	—
2020年3月期第3四半期	174.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	29,038	15,769	48.9
2020年3月期	28,883	14,533	45.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 14,197百万円 2020年3月期 13,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期配当予想については未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	△15.4	1,370	9.5	1,640	32.6	1,040	25.0	343.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	3,157,382株	2020年3月期	3,157,382株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	133,814株	2020年3月期	133,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	3,023,568株	2020年3月期3Q	3,150,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞時期から徐々に活動が再開するにつれ、持ち直しの動きがみられたものの、第3波と見られる感染拡大が依然続き、また自動車業界では新たに半導体不足リスクも浮上する等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、期初において自動車部門、建設機械部門共に新型コロナウイルス感染症の影響により、国内、ASEAN市場の需要低迷、取引先の海外からの構成部品調達難による生産調整の影響を受け、国内外で大幅な受注減少に見舞われましたが、9月以降の受注状況は経済活動再開による回復に伴い前年並みとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は199億2千7百万円（前年同四半期比18.3%減）となりました。部門別では、自動車部品は160億2千4百万円（前年同四半期比19.7%減）、建設機械部品は30億3千9百万円（前年同四半期比12.3%減）、農業機械部品は3億8千3百万円（前年同四半期比15.1%減）、その他部品は4億8千万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

損益面におきましては、グループを挙げての徹底した原価低減により、営業利益は8億9千8百万円（前年同四半期比9.3%増）、経常利益は11億6千1百万円（前年同四半期比37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億3千6百万円（前年同四半期比34.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億5千5百万円増加し、290億3千8百万円となりました。

資産の部では、流動資産は、現金及び預金が20億7千8百万円増加、受取手形及び売掛金が2億2千4百万円減少、電子記録債権が10億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億3千万円増加し、167億2千9百万円となり、また固定資産は有形固定資産が2億9千8百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ3億7千5百万円減少し、123億8百万円となりました。

負債の部では、流動負債は、費用抑制等により買掛金が5億8千3百万円減少、電子記録債務が2億9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億1千2百万円減少し、123億7千7百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べ3千2百万円増加し、8億9千1百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益7億3千6百万円の計上による増加、剰余金の配当による6千万円の減少、為替換算調整勘定が3億3千3百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ12億3千5百万円増加し、157億6千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,295,682	6,374,613
受取手形及び売掛金	4,025,763	3,801,600
電子記録債権	2,993,517	1,993,100
製品	316,144	308,172
仕掛品	1,331,833	1,217,375
原材料及び貯蔵品	2,550,897	2,330,174
その他	685,163	704,824
流動資産合計	16,199,004	16,729,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,292,548	3,191,873
機械装置及び運搬具(純額)	5,351,128	5,220,946
土地	2,507,736	2,548,621
その他(純額)	805,116	696,455
有形固定資産合計	11,956,530	11,657,896
無形固定資産	59,143	44,967
投資その他の資産		
投資有価証券	123,012	136,679
その他	554,816	478,172
貸倒引当金	△9,130	△9,130
投資その他の資産合計	668,698	605,722
固定資産合計	12,684,371	12,308,585
資産合計	28,883,376	29,038,447
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,678,320	2,094,554
電子記録債務	4,966,945	4,757,425
短期借入金	3,832,000	3,800,000
未払法人税等	111,132	189,301
賞与引当金	432,752	232,369
役員賞与引当金	19,440	20,600
その他	1,450,114	1,283,593
流動負債合計	13,490,705	12,377,844
固定負債		
長期借入金	—	60,000
退職給付に係る負債	607,132	626,993
役員退職慰労引当金	143,652	109,600
資産除去債務	25,441	25,521
その他	82,643	69,094
固定負債合計	858,869	891,209
負債合計	14,349,575	13,269,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,143,486	2,143,486
資本剰余金	1,995,896	1,995,896
利益剰余金	9,848,204	10,524,309
自己株式	△211,326	△211,327
株主資本合計	13,776,259	14,452,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,223	40,087
為替換算調整勘定	△501,667	△168,534
退職給付に係る調整累計額	△132,380	△126,641
その他の包括利益累計額合計	△602,824	△255,088
非支配株主持分	1,360,365	1,572,116
純資産合計	14,533,800	15,769,392
負債純資産合計	28,883,376	29,038,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	24,397,577	19,927,549
売上原価	22,064,044	17,710,582
売上総利益	2,333,532	2,216,967
販売費及び一般管理費	1,511,123	1,318,225
営業利益	822,409	898,741
営業外収益		
受取利息	4,851	27,272
受取配当金	4,407	2,789
為替差益	—	38,084
雇用調整助成金	—	174,391
受取ロイヤリティー	2,965	—
物品売却益	17,262	9,065
その他	14,120	33,277
営業外収益合計	43,606	284,881
営業外費用		
支払利息	9,578	9,374
為替差損	780	—
その他	11,818	12,317
営業外費用合計	22,177	21,691
経常利益	843,838	1,161,930
税金等調整前四半期純利益	843,838	1,161,930
法人税等	186,901	356,023
四半期純利益	656,937	805,907
非支配株主に帰属する四半期純利益	107,556	69,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	549,380	736,576

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	656,937	805,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,535	8,863
為替換算調整勘定	69,179	475,904
退職給付に係る調整額	1,743	5,387
その他の包括利益合計	75,458	490,156
四半期包括利益	732,395	1,296,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,451	1,084,312
非支配株主に係る四半期包括利益	127,944	211,751

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。